

■自立支援協議会における主な機能の1つに「評価機能」があり、下記について評価を行うことが規定されている。【厚生労働省 障発0328第8号より】

- (1) 基幹相談支援センターの事業実績の検証
- (2) 市から障害者相談支援事業の委託を受ける事業者が作成する事業運営等の評価

■基幹相談支援センター、サポートセンター沼南は国・県補助金の対象事業となっており、補助金の実施要綱である「重層的支援体制整備事業実施要綱」において、自立支援協議会における事業内容評価が規定されている。

【重層的支援体制整備事業実施要綱 別添2 包括的相談支援事業実施要領 別記1の2の1 障害者相談支援事業】

指定特定相談支援事業者又は指定一般相談支援事業者に委託する場合には、事業運営の中立性・公平性を確保する観点から、市町村が設置する自立支援協議会において、委託事業者の事業計画等について、事業評価を行う等の措置を講じることが適当である。

【重層的支援体制整備事業実施要綱 別添2 包括的相談支援事業実施要領 別記1の2の2 基幹相談支援センター】

市町村は、基幹相談支援センターを設置又は委託するに当たっては、協議会等において、設置方法や実施する事業内容の事業の実績の検証等を行うこと。

## 1. 自己評価

時期: 6月上旬

対象: 中央基幹相談支援センターCoCo、小金基幹相談支援センターおんぷ、  
常盤平基幹相談支援センターふれあい、サポートセンター沼南

内容: 評価項目ごとに4段階の自己評価を行うと共に、詳細を記載する。

## 2. 書類審査

時期: 6月中旬

内容: 自己評価結果を各委員へ郵送。書類審査を行う。

評価者: 地域自立支援協議会評価担当委員5名、障害福祉課

## 3. 評価会(ヒアリング審査)

時期: 7月1日(金)

内容: 自己評価結果の正しさの検証や、書類審査を補完するために各事業所からヒアリング審査を行う。

評価者: 書類審査と同様

## 4. 地域自立支援協議会(評価の確定)

時期: 8月3日(水) 令和4年度第1回松戸市地域自立支援協議会

内容: 地域自立支援協議会評価担当委員、行政職員による評価結果をベースとして審議した上で  
最終的な評価を確定する。

## 1. 相談支援体制について (15分程度)

松戸市より委託事業所の設置経緯、役割、令和3年度の委託内容等説明

## 2. プレゼン、質疑応答 (5分プレゼン、10分質疑応答) × 4事業所

令和3年度事業において、力を入れた取組みや意識した点等についてプレゼン(各事業所5分程度)

審査にあたって、書類だけでは不足する点等の質疑応答(各事業所10分程度)

## 3. 評価

評価会翌週の7月5日(火)までに評価を提出(当日提出も可)

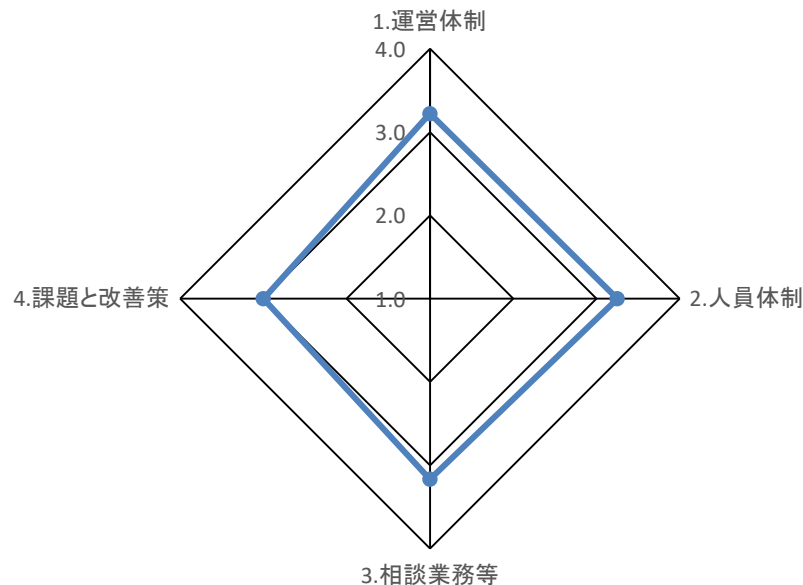
※できる限り評価した点、改善すべき点の記述をお願いいたします

評価担当者に偏りが出ないように、自立支援協議会の選出区分ごとに毎年度1名ずつ選出し、5～6名とする。

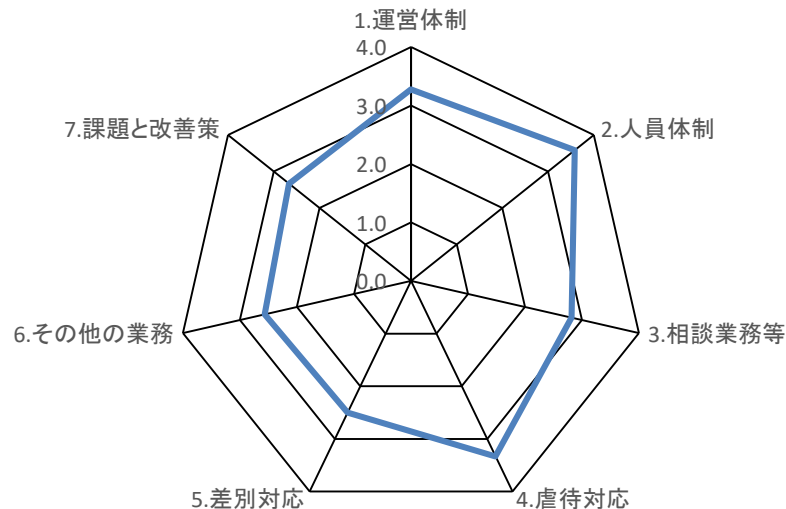
## 評価担当者

### 自立支援協議会委員

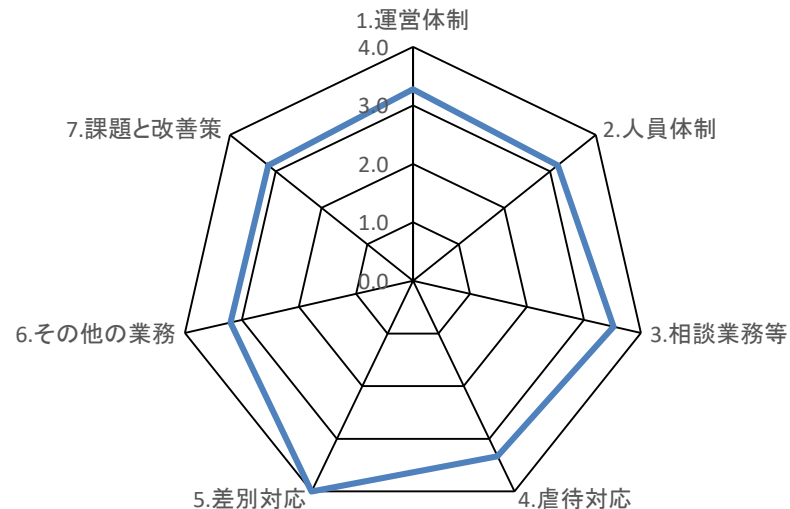
1. 【当事者】(特非)松戸市障害者団体連絡協議会 理事長 菊田 陽子 氏
2. 【障害福祉サービス事業所】(社福)彩会 理事長 平山 隆 氏
3. 【障害福祉サービス事業所】(株)ベールヘルツ 管理者 浜辺 卓 氏
4. 【教育・雇用】千葉県立矢切特別支援学校 教頭 鹿間 孝一 氏
5. 【部会長】(社福)実のりの会 ビック・ハート松戸 センター長 古川 亮 氏
6. 【行政】障害福祉課 課長、課長補佐、支援班ケースワーカー



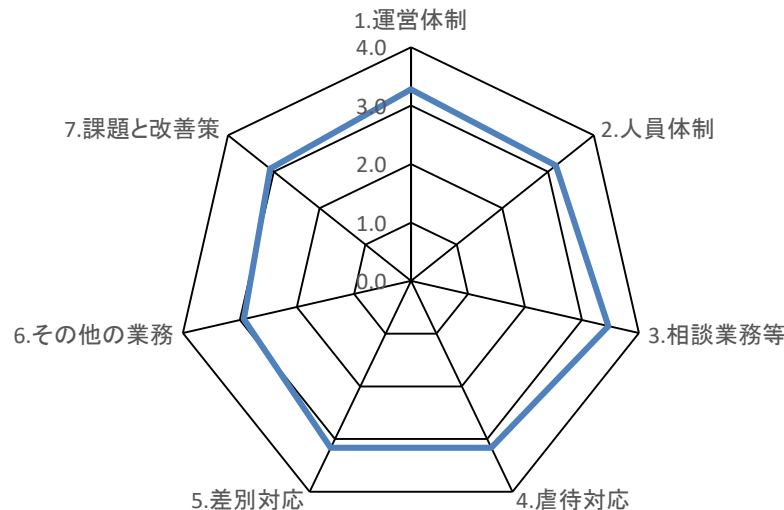
- (1) ◎利用者が就労している場合が多いので、相談は夜が多いとのことですが、それに対して、フレキシブルに対応しているのは、利用者にとっては、とてもありがたいことだと感じました。  
◎軽度知的の方の特性をきちんと把握し、丁寧に対応されている印象です。
- (2) ◎ZOOM会議も取り入れ、他の地域の方々との研修も実施できたのは良いと思います。
- (3) △地域の社会資源について、より積極的な情報の収集を行ってほしいです。
- (4) △事業所運営上の改善策において、より具体的な取り組みを念頭に置くことが大切です。  
◎地域課題の認識について、一人暮らしの障害者への対応を考えています。



- (1) ◎職員間の情報共有のできる体制になっている点  
◎事業所の周知について、活動白書等作成し、周知に取り組んでいます。
- (2) ◎多忙の中、情報共有の時間をかけて、相談員を孤立させない取り組みに対して評価
- (3) ◎基幹相談支援センターが3箇所になったにも関わらず、相談件数が思ったほど減少しなかったとのことですが、それでも相談業務の質を維持できていました。  
△他の基幹相談支援センターとの連携、役割分担等、精査し、効率良い運営ができれば良いと思います。
- (4) ◎24時間の受入れ体制
- (5) △支援困難事例について、対応内容の具体的な記述があると良いです。
- (6) ◎社会との関わりがなかなか持てない方の居場所づくりの、「とまり木」の取り組みについて、強制ではなく、緩やかにつながりつつ、そこから、それぞれ広げていけているというのは、支援の形としてあるべき姿だと感じました。
- (7) ◎ひきこもりに関して力を入れていることが良くわかります。決して偏っているわけではないと思います。



- (1) ◎個人情報の保護に気を使い、管理しているのは大変良いです。また、個人情報の取り扱いも本人の承諾を得ていることが大切です。  
△事業所の周知について、保護者(障害をもつ人)への周知に工夫をしてほしいです。
- (2) ◎職員のメンタルを重視し、大切にしているとのことでした。
- (3) ◎子育てがしんどいママのカフェは、とても魅力的な場所づくりの事例だと感じました。
- (4) ◎虐待事例について、適切、迅速な対応ができています。
- (5) ◎精神障害のある方が自治会役員へ選出された事例について、本人への対応は当然ですが、自治会とのやり取りも丁寧に対応している点と、様々な関係機関とも連携しながらの支援をしている点を評価。結果として、どちらかが我慢する形ではなく、双方努力する形となった点も評価できます。
- (6) ◎地域移行・地域定着支援・居住サポート事業について、相談者に寄り添った支援を行っており、丁寧な取り組みをしています。
- (7) △まだ、地域での認知度が低いと感じます。今後期待しています。



- (1) ◎主担当が不在でも相談体制が確立されている点と、ケースの共有も対応できている点を評価
- (2) ◎少ない人員体制の中で、研修やサポサポの企画・運営を行うことができていた点、課題について内部研修を実施できた点を評価
- (3) ◎年金相談に関しては、病院のワーカーさんに対しても研修を実施したとのこと。様々な支援者をつなぎ、支えられていると感じました。  
△基幹相談支援センターを受託し、相談件数の増加、相談内容の幅も拡大し、より専門的な支援が必要です。頑張ってください。
- (4) ◎様々な状況に、柔軟に対応をしています。
- (5) ◎多岐に渡る課題が多く、しっかり分析し、関係機関と連携して取り組んでいる様子です。
- (6) ◎独自で実施するその他の事業について、発達障害者のための自助グループ支援を、是非今後もお願いしたいです。
- (7) △基幹相談支援センターの役割等、たえず問われながらの取り組みになると思います。連携のあり方を見直しては。